

Rebet Kouhou

リベット工法

600角などの大型タイルの落下防止補助金具として、タイルと金具をリベットで結束させ、ステン板(線)で躯体に緊結させる工法です。

リベット工法のポイント

- 巻バネで固定した場合、引っ掛け部を回す際に治具が必要となりますが、リベットの巻バネを使わずに自由に動かすことができます。
- タイルの裏面が平滑な場合、エポキシ系接着剤だと盛り上がり躯体に干渉してしまう事がありますが、リベット工法はほとんど盛り上がりなく、梱包もスムーズに行うことができます。

●リベット工法 ステン板



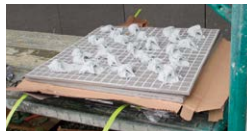
●リベット工法 ステン線



●リベット断面



施工の流れ



①タイルの裏面に接着剤を塗ります。この時、リベットの位置を確認してください。



②リベットが付いている方を上にし、面精度・目地通りを確認して張り付ける。



③ステン線を用いた場合は、リベットから伸びているステン線をビスに巻きつけます。
※ステン線を巻きやすいようにビスは予め長めに出しておきます。



④全てOKであればビスを回して根本まで入れ込みます。



⑤目地詰めをして完成。

⚠ Cautions

- 下地の面精度は、±2mm以内としてください。
- 下地材は十分乾燥させ、付着しているゴミ・塵等はきれいに除去してください。
- コンクリート・モルタル下地の豆板や、ALC・押出成型型等の欠け等は、事前に処理してください。
- ALC・押出成型板の板間跨ぎは施工できません。
- 目地材はシーリング目地を推奨致します。
- 材質上、切断面及び突起部分には十分ご注意ください。

適用下地

- コンクリート(RC造・SRC造)
- モルタル
- 不燃系ボード類(木造・鉄骨造・内装壁など)
- 押出成型板(鉄骨造など)※総重量30kg/m²まで
- ALC板(鉄骨造など)※総重量30kg/m²まで

推奨接着剤

- 外部:タイルメント社製 ME-05(一液性)
- 内部:タイルメント社製 MS-20(一液性)



Gachi Lock

ガチロック工法 (大型タイル壁面施工の新工法)

●ガチロック工法及び専用金具は、特許出願中です。●ガチロック工法は、国土交通省フロンティア事業選定品です。

専用取付レール(ガチレール)を構造体にビス・アンカー等で留め付け、予め工場にて取り付けした専用支持金具付きタイルをガチレールに引っ掛け接着剤で固定する施工方法です。タイル個々が新たに開発した金具で引掛かった状態にあることでタイルの独立性が保たれ、地震時や強風時の躯体の大きな揺れを吸収し、剥離・落下を防止することが出来ます。飛散防止用ネットとの併用でタイル自体の割れ・落下による飛散を防止することができます。

■ガチロック工法のメリット

○耐震性の向上

金具と金具でジョイントされている為、地震の時も安心です。

○簡単取付

単純構造の為、手間がかからず、作業効率もアップします。

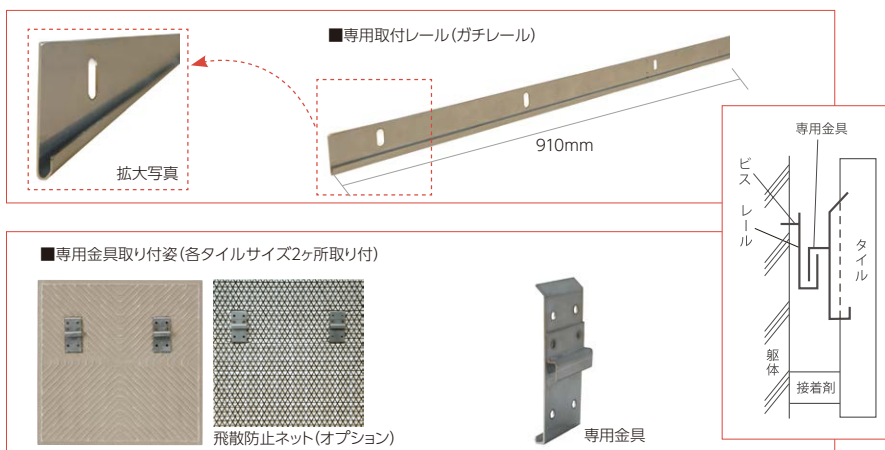
設計価格 (タイル別途)

専用金具+金具取付加工代+レール代

600角	¥8,000 ~ /m ²
300×600角	¥12,000 ~ /m ²
300角	¥15,000 ~ /m ²

※価格はサイズ・躯体により変わる事が有ります。
上記以外のサイズタイルも対応出来ます。詳細はお問い合わせください。

※上記価格にタイル代金は含まれておりません。



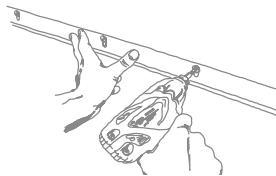
施工の流れ

①下地にレールを取付

レールを下地にビス止めします。しっかりと固定されるよう、電動ドライバー等で止めてください。(アンカー併用)

⚠ Cautions

水平器等用いて、水平になるよう取付けてください。

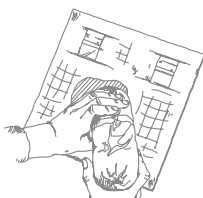


②専用金具付タイル裏面に接着剤を塗る

接着剤をタイル裏面中心から下部にかけて塗ります。

⚠ Cautions

タイルのサイズにより、接着剤の量(位置)を調整してください。

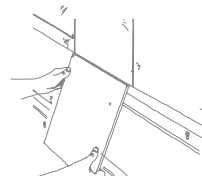


③タイル裏面金具をレールへ

しっかりとレールが固定されている事を確認し、タイル裏面金具をレールへ引っ掛けます。

⚠ Cautions

レール取付け位置は施工効率により、上部・下部どちらでも可能です。発注時に指示ください。



④下部(裏面接着剤塗布部分)を押さえて張り付け微調整

タイル裏面上部がしっかりと引っ掛かっている事を確認し下部へ張ってください。(接着剤部分にて不陸を調整してください。)

